

平成21年度 【 学園研究費助成金< B > 】 研究成果報告書

学部名 教育学部

フリガナ イソベ キンジ
氏名 磯部 錦司

研究期間 平成21年度

研究課題名 生命主義的自然観を基軸とした造形芸術による教育

研究組織

	氏名	学部	職位
研究代表者	磯部 錦司	教育学部	教授
研究分担者			
研究分担者			

1. 本研究開始の背景や目的等 (200字~300字程度で記述)

本研究は、2001年からの「自然観を基軸とした芸術活動をとおした感性の教育」についての一連の研究である。今年度は、自然観・生命観を視点に総合教育としての芸術の意味について検討し、子どもの造形活動のプロセスと作品、ワークショップにおける実践事例から生命のイメージの表れと変容を読み取り、そこに表れる生命に対する感じ方、見方、考え方の広がり、また変容を示し、特に、「総体的、包括的生命観」「関係性において表れる生命観」について、芸術経験と表現内容の関わりから、「自然観、生命観の構築における造形芸術活動の果たす役割」を示した。

2. 研究方法等 (300字以内で記述)

「生命主義的自然観をとおした芸術活動」について、文献と先行研究より「総合教育としての芸術活動の役割」を明らかにし、さらに、自然観・生命観について実践研究を試み展開した。資料はこれまでに収集したものと、2008年から継続する日本とチェコでのアートプロジェクト「いのちとの対話」の試み、市民活動との連携において企画する「こども芸術村」の実践において、それらのプロセスと内容から考察した。子どもの造形活動のプロセスと作品、ワークショップにおける実践事例から生命のイメージの表れと変容を読み取り、そこに表れる生命に対する感じ方、見方、考え方の広がり、また変容を検証し、「環境との関係性において表れる生命観」について芸術経験と表現内容の関わりから造形活動の意味について検討した。

3. 研究成果の概要 (600字～800字程度で記述)

1. 「総合としての芸術」の位置づけ (『教育学部研究紀要』vol.3, 2010年)
 - 「芸術をとおした教育」における「総合としての芸術」
 - ・ H.リードを中心とする芸術教育の考えから、アートの持つ統合的、総合的な役割を再考し述べた。
 - 「社会的創造活動としての芸術」
 - ・ 近代日本の造形教育思想を、全人的教育を視点に教育と芸術と社会背景から考察し、社会的創造活動としての芸術の意味を示した。
 - 「生活と芸術の結合」
 - ・ 近代日本の総合教育を辿ることによって、総合教育の課題と現代における方向、「生活実感の創造と学習の有機的な結合」「裁量のあるカリキュラムの創造」「共生する文化の公共的領域の形成」を示した。
 - 「芸術が創造する『相互親和の社会』」
 - ・ 芸術活動の社会的役割として、現代社会における方向を示した。
2. 「生命主義的自然観を基軸とした造形芸術による教育」の実践研究
 - 「アートプロジェクト・Dialogue of Life」の実践
 - ・ 10月 長良川 (海津市大江小学校)
 - ・ 2月 モルダウ河 (プラハ市立中学校、シュタイナー学校)
 - 「こども芸術村」の実践
 - ・ 8月 飛騨金山山中 (アートキャンプ)
 - ・ 10月 岐阜現代美術館 (作品展)
3. 実践事例から、プロセス、行為、表現内容、生命のイメージの変容を分析
 - ・ 活動のプロセスと表現内容に見られる自然観の変容
 - ・ 体験の質をエピソードから抽出
 - ・ 事前事後の「いのちのイメージ」の変容

4. キーワード (本研究のキーワードを1以上8以内で記載)

①芸術	②自然観	③生命観	④造形
⑤美術教育	⑥	⑦	⑧

5. 研究成果及び今後の展望 (公開した研究成果、今後の研究成果公開予定・方法等について記載すること。既に公開したものについては次の通り記載すること。著書は、著者名、書名、頁数、発行年月日、出版社名を記載。論文は、著書名、題名、掲載誌名、発行年、巻・号・頁を記載。学会発表は発表者名、発表標題、学会名、発表年月日を記載。著者名、発表者名が多い場合には主な者を記載し、他○名等で省略可。発表数が多い場合には代表的なもののみ数件を記載。)

- 「生命主義的自然観を基軸とした造形芸術による教育2—芸術という総合—」
『椋山女学園大学教育学部研究紀要』Vol3、椋山女学園大学教育学部、2010年
 - 「子どもが絵を描くとき」『教育美術』財団法人教育美術振興会、2009年4～6月号)
 - 自然環境への意識の変容を生み出す造形芸術活動とその内容について
 - ・ 講演：「こども芸術村—自然・子ども・アート—」岐阜現代美術館、2009,10、
 - ・ 映像：「こども芸術村・アートキャンプ」(DVD)、「チェコ・日友好協会 HP」
 - ・ 出版物：「こども芸術村作品集」こども芸術村事務局、2009,10、
- * ニッセイ財団出版助成において「ななみ書房」より2011年3月の出版を目指している。